

## 米子で中国地区の協議会総会・ブロック会議・技術者研修会を開催

### -アルミ電線の試用を提案-

平成 30 年 5 月 30 日  
一般社団法人 日本船舶電装協会

一般社団法人日本船舶電装協会は、5月25日(金)に米子市で中国船舶電装協議会(会長:山本勝広協成電機(株)社長)の協力を得てブロック会議及び研修会を実施しました。

この事業は、日本財団の助成を受けて行っているもので、船舶電気装備工事に携わる当会会員企業にとって必要な最新の船舶安全に関する法令等を学ぶとともに施工上の留意点等を十分に理解して、適正な電装設計、工事に役立てることを目的としています。

この会合に先立って同協議会の総会が開かれました。

総会、ブロック会議には中国運輸局の岸成人首席海事技術専門官、鳥取運輸支局の中尾海事技術専門官、及び日本小型船舶検査機構境支部の森脇支部長が出席し最新の検査関係規則の紹介や小型船舶の検査等について説明を行いました。

また、今年度の技術者研修会のテーマである「アルミ電線の船舶への適用」では、同協会より2ヶ年にわたり行った調査研究の成果を報告するとともに、同調査研究に協力した古河電工産業電線が提案する「電気溶接や造船工事におけるアルミ電線の試用について」紹介しました。

平成 30 年 5 月 25 日(金) 米子市ワシントンプラザホテル (参加者: 24名)



連絡先 (一社)日本船舶電装協会 03-3504-0858 松坂